



ひとりの罪人が悔い改めるなら・・・ 牧師 立石尚志

・・・神の御使たちに喜びがわき起こるのです。ルカ 15:10

12月5日の礼拝において、三人の方々が洗礼を受けられ、ご自分に与えられた信仰を表し、クリスチャンとしての歩みを開始されました。ここに彼らの信仰の証しを掲載させていただきます。彼らが主イエスの十字架を信じ、神に従う人生を始めた時、世界最大のサッカースタジアムでシュートが決まった時よりも大きな歓声が神の天使たちの間で沸き起こったことを聖書は告げています。なぜでしょうか？

それは彼らの命を救うために、天地万物の創造者、栄光の神の御子主イエスが神の立場を捨てて、人となられ、十字架上で命をささげられたことを天使たちがはっきり見て知っているからなのです。★クリスマスは神が私たちが愛してくださっている証拠です。神はあなたをどれほど大切に思っているのでしょうか。このクリスマス、神様からのプレゼントである救い主イエスを是非、心にお迎え下さい！

「いつかこの本を全部読んでみたい」 A. N. 姉

2010年12月5日 洗礼式における証し

●キリスト教のことをはじめて知ったのは私の覚えている限りでは、小学生の時でした。私の通っていた小学校に、学校の日本の行事に参加しないキリスト教を信じている女の子がいました。親しい友達ではありませんでしたが、学校行事に参加しない子ということで、とても印象に残っていました。中学生になって、私は、学校に行かない時期がありました。特に学校でいじめにあったわけではなく、「人は何のために生きているのか?」「人間こそ悪ではないのだろうか?」「消えてしまいたい」と毎日思っていて、閉じこもっていました。そのとき、あの小学生の時に会ったクリスチャンの女の子が、クラスは違うのに、毎朝、私の自宅まで迎えに来てくれていました。自殺も考えましたが、人に迷惑がかかるし、悲しむ人もいる、そして、自分を消すことも不可能だということがわかり、自然に、「私たちは生かされているのだ」と考えるようになりました。



この考えは、自分から出てきたことで、私は全く神様のことは信じていませんでした。その、クリスチャンの女の子とは一度も同じクラスになったことがなく、高校も別々になってしまいましたが、たまに遊ぶ機会があり、高校卒業の頃には親友になっていました。卒業旅行に一緒に行くことになり、そこではじめて聖書を手に取りました。ホテルに常備されていた聖書です。その時、本が好きなことから、いつかこの本を全部読んでみたいなあと思っていました。

●この6年後に結婚のため、アメリカに来ました。夫の家族がカトリックの信仰をもっていたので、教会のミサに何度か参加しました。家族と、神様のことについて話す機会も増えてきました。そして、日本人の友達の家で行われている聖書の勉強会(家庭集会)の誘いを受けました。いつか聖書を読んでみたいという高校の卒業旅行の時から思いがあったので、聖書の勉強

強をしてみようと思いました。それから、家庭集会だけでなく、「基礎の学び」を週に1回することが出来、立石先生がハートフォードに来てくださる度に、私の質問にわかりやすく答えてくださり、どんどん神様のことを知ることができました。知れば知るほど、今までの人生はすべて神様の導きであったと確信するようになりました。そして、自分の罪を認識し、イエス様が私の罪のために、十字架にかかってくださったことを感謝することができました。

「あなたがたは今まで私の名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。」

ヨハネ 16 : 24

●小学生の時に会った友達は実はエホバの証人の信者でしたが、今でも一番の親友です。夫やその家族もカトリックですがクリスチャンです。私が、神様を信じるためにこの人たちを私の歩みの中に置いてくださり、私はイエス様を信じ神様の救いに預かることができました。これから神様に従って歩いていくことで、今度は信仰に導いてくれた友達や家族のためにも祈っていきたいと思っています。■

「何度も何度もドアをノックしてくださった主」 Y. E. 姉

2010年12月5日 洗礼式における証し

●私のキリスト教との出会いは4歳、幼稚園のときでした。神様はなんでもご存知だからちょっと怖い、でもイエス様は優しく大好きと、思っていました。教会のステンドグラスや礼拝の厳かな感じも気に入っていたことを覚えています。卒園後、残念ながら教会に行くチャンスはありませんでしたがいつも心の中には神様がいらっしゃいました。困ったときは「神様、助けて!」、悪いことをしたときは「神様、ごめんなさい。」と小学生まではひとりでお祈りをしていました。しかし中学生になった頃からだんだん「神様、ごめんなさい」をしなくなりました。でもあいかわらず困ったときだけは「神様、助けて」をする都合のよい付き合い方をするようになっていました。それでもただ漠然とですが「いつも誰かに守られているから大丈夫」という感覚だけはずっと持っていました。

●高校生になってすぐ、中学時代のクラスメートが交通事故で亡くなりました。初めて死を間近に感じ、クリスチャンにならないまま死んでしまったら私は天国にいけないという考えが頭をよぎりました。母に「もし今私が死んだら仏教でのお葬式になるの?」と聞きました。「そうだけど、なぜ?」と言われ、「仏教でお葬式されると天国にいけないから困る。」と答えました。「じゃあ、どうしたらいいの?」と言われ、「キリスト教でのお葬式じゃないと困

るけど、どうしたらいいのかはまた今度考える。でも絶対にこのことは忘れないで。」と伝えました。でもそれについて考えもせず、すっかり忘れて高校生活が終わりました。その後、キリスト教系の大学に入学し、キリスト教を学ぶ機会が与えられましたがその頃は興味がなく、自由参加の礼拝には全く出席しない4年間を過ごしてしまいました。ちょうど新興宗教などが世間を賑わしていた頃だったので宗教、信仰を持つということに違和感を感じていたのも事実です。でもチャンスがあったら教会に行ってみたくははずっと思っていました。

●こんな罪深い私ですが、神様は見捨てることはなさらず思い返してみると何度も何度も私のドアをノックしてくださっていました。体の痛みを伴う困難や人間関係などの試練もありましたが、それだけでなく素晴らしいクリスチャンの方と一緒に仕事をするといい機会が与えられました。その方は、うわべだけでなく、いつも他人のことを自分のこと以上に気遣い、どんな人に対しても常に誠実でいらっしゃいました。時にはその方が他人



から陥れられる場面にも遭遇しましたが、決して怒ることなく、残念そうではあってもいつも赦していらっしゃいました。「どうしてこんなに心が広く、清らかな人がいるのだろうか?何がそうさせるのだろうか?」と不思議でした。この方との出会いで「教会に行ってみなくては」という気持ちになりました。

●その翌年、主人のニューヨーク駐在が決まりました。不思議なことに、先ほどお話ししたクリスチャンの方はニューヨークにとっても縁のある方で生活の立ち上げにも力を貸してくださいました。そんなこともあり、海外での長期生活は初めてでしたが、特に抵抗もなく、むしろワクワクしながらやってきましたが、いろんなことがうまくいきませんでした。そんな中、ふとグリニッチ福音キリスト教会のイースターイベントのチラシを目にしました。主人には日本にいた頃から「教会に行ってみよう」と話してあったし、子供も喜ぶイベントだからということで参加しました。その際、礼拝へのお誘いを頂き、「やっとチャンスがやってきた。」という思いで足

を運びました。とても暖かく迎えられ、また礼拝に参加すると心が透き通るような思いがしました。主人も同じように感じていたようで、無理なく家族で毎週礼拝に参加しました。

●入門の学びやクリスチャンの方々との交流をしていく中で、イエス様が私の罪のために十

字架に架かってくださったこと、そしてどれほど神様に愛されている存在であるかということを知り、自然とイエス様を主とし、神様に従って喜ばれる存在として生きていきたい、と強く思いました。神様、イエス様のことを初めて聞いたときから長い時間がかかりましたが、神

様のお導きにより、本日新しく生まれ変わることができました。今日のこの喜びに満ちた気持ちを忘れず、神様の導きを信頼し、委ね、感謝して生き、主人と共に神様に喜ばれるクリスチャンホームを築いていきます。どうぞ宜しくお願いいたします。■

「私がどのように神からの祝福を受けたのか」 K. E. 兄 2010年12月5日 洗礼式における証し

(前掲 Y.E. 姉と K.E. 兄とは夫妻です)

●私がなぜ神の存在を信じ、自分の罪を悟り、信仰告白をするに至ったのかについて妻の存在を抜きに語ることはできません。私は子供のころ、科学的に正しいかどうかは真理のすべてであり、物理法則や数学的な証明により宇宙の成り立ちを理解できると信じていました。当時の夢は数学者になることでした。高校を卒業し、大学生になっても神のことなど考えたこともなく、それを私の教えてくれるような人とも出会いませんでした。神とは全く無縁の社会人としての生活を7年ほど続けた2002年の冬、妻と出会いました。妻との出会いで私の生活は一変し、それまでのすさんだ生活から救い出されたかのように感じました。何か大きな力に流されるようにして自然と結婚することになりました。2003年夏、二人でハワイ旅行に行った最初の夜に、とても鮮明な夢を見ました。髪が長く目がぱっちり大きい小さい女の子が自分を見上げている、そんな夢でした。10月に入籍し、翌1月に結婚式を挙げましたが、すぐに子供ができたことが分かりました。直観的にあの夏のハワイで見た夢の女の子に違いないと思いました。男の子か女の子か分からないうちに私たちは子供に名前をつけました。数年が経ち、髪が長くなった娘の顔は、間違いなく夢に見たその顔でした。この頃の私には妻と出会ったこと、夢に見た娘に恵まれたことが自分の生きる力となっていました。

●結婚して間もない頃から妻は教会に行ってみたく、海外で生活したいという夢をよく語るようになりました。教会には友人の結婚式で行ったことがなく、教会に行く意味も当時よく分かっていませんでした。海外赴任についても自分の仕事ではあまり可能性がありませんでした。しかし、私は娘を米国で育てることができればよいと感じていたのと、妻と娘と米国で生活することがなぜか既に決められたことのように感じていました。それが妻の夢ならなおのこと、きっとかなうに違いないと信じていました。さらに数年が経った2009年夏、

娘の夢を見てからちょうど6年目の日に米国赴任の内示を受けました。娘が命名した長男の間もなく生まれるという時のことでした。慌ただしく渡米して、庭に囲いがある一軒家を希望すると、グリニッチにちょうどよい物件が空いたばかりだったのでそこに住み始めました。夢であった米国生活は最初、必ずしも順調ではなく、娘の学校のことを始め、悩みの多い生活を続けていた2010年春、グリニッチ教会でイースターイベントがあるから行ってみようという妻に言われ、参加することにしました。妻は、翌週から日曜日の礼拝に通いたいと言いました。

私は生活を変えるよい転機になればと思い、礼拝に行くことに同意しました。教会で温かく迎えていただき私達家族にとって救いとなりました。

●教会に通うようになり、私は福音の意味、キリスト教の聖書がどういうものなのか、十字架にかかったイエス様が復活したことなどを始めて知りました。入門クラスを受け、聖書やキリスト教に関する本を読んだり調べたりして知識としては分かるようになってきましたが、信仰するというのは違っていました。聖書も数学の本を読むように理解しようとしていたからだと思います。夏のファミリーキャンプにも参加し、入門クラスも終わりに近づいてきた2010年10月8日金曜日の晩のことです。妻に連れられて息子のお守りのためにアメリカ人教会で行われていた祈り会に出席した私は、神の声を聞きましょうというパスターの話を聞いていました。仕事に追われる日々が続いていた私は、時間がない、そんな時間がないということで頭がいっぱいでした。そしてその思いをパスターに伝えて祈ってもらったときに、ふと妻と出会って今日この米国の地で祈りをささげていることは決して偶然の出来事ではないのだと気づきました。神が



近づいているように感じました。偶然でないのだ、すべて神が導いてくれたのだとわかった時に、これまでそのことに何の感謝もしていなかった自分の罪を深く感じ、神を顧みることがなかった自分の罪が、そしてイエス様の十字架による贖いの意味がすべてつながったように感じました。付き添いで参加した祈り会の場で私は囚わらずに信仰告白しました。妻は驚いていましたが、私に驚きはありませんでした。聖書の入門クラスを終えて、改めて信仰告白し、洗礼を受けることになりました。米国赴任になり、グリニッチに住み、教会に通うようになったこと

とや、同じころ会社の同僚のクリスチャン家族と出会ったこと、娘の学校のことで悩みましたが、その結果、娘がクリスチャンスクールに転校し通うようになったこと、これらのことすべて偶然だと考えていた自分と決別し、神の導き

だということを受け入れたとき、自分の心がとても穏やかになっていることに気がきました。それは妻と出会って自然のままに結婚することになったときの穏やかな幸せな気持ちと同じでした。妻と出会い、娘を授かり、長男を授かったことそのものが私の人生において神の存在を確信させるものとなりました。

●私は今、イエス様を主として神に従って生きていくことを決意しました。そして神を顧みることがなかった自分の半生の罪がイエス様の十字架によって贖われたことに深く感謝します。私はこれまで神を求め、祈ることをしてこなかったにもかかわらず、神の恵みにより素晴らしい家族との出会いに恵まれました。これからは心を尽くして神に従っていきたく思います。そして、今日の洗礼の日からクリスチャンホームとしてよりいっそう幸せな家庭を築いて行きたいと思ひます。■

■12月、の集会・行事予定■

※下記以外にも週の間、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。

【定例集会】

★日曜礼拝 10:00~11:30

グループ会 11:45~12:15

大人、子供それぞれのクラスに分かれます

【各種集会】

★グリニッチ 家庭集会

原則第一金曜 10:00am (場所は電話で)

★グリニッチ 聖書を読む会

金曜 10:00am (場所は電話でご確認ください)

★スタンフォード 聖書を読む会

毎週水曜 1:15pm 場所: 井上宅

★ハートフォード 聖書を読む会

月三回木曜 9:30am 山田宅

月一回木曜 10:30am テイラー宅

ハートフォードメンズフェローシップ第3木曜 7:00pm

★ハリソン 聖書を読む会

隔週火曜 10:00am 場所: ハリソン長老教会

★マウントキスコ 聖書を読む会

毎週水曜 8:00pm 場所: 平野宅

★ハリソン・メンズ・バイブル・フェローシップ

第1, 2, 4木曜日 8:30pm 場所: 荒木宅

●親子クリスマス会 12/11(土) 2:30pm、●クリスマスキャンドル礼拝 12/19(日) 5:00pm

●新年礼拝 2011年1/2(日) 10:00am、お餅を食べる会 同12:30pmより

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志

c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com

《問い合わせ》教会 TEL/FAX (203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609, e-mail: jgclmi@verizon.net

